

2016 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	音楽学科 科 目
-----------	----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

音楽学科科目については、ほぼすべての科目がアンケートの全設問項目において全学平均を上回っているという喜ばしい結果が出ている。しかし一部の科目について、部分的に平均を下回っている項目が存在するのも確かである。

このような科目については、それぞれにそれなりの理由があると考えられる。

まず、一部の理論的科目（ソルフェージュ、和声法、対位法など）については、授業内容についていけない学生が見られる。これは、従来からの入試改革によって、高校音楽科卒業ではない、普通科卒業生が増えていることの結果でもあると考えられる。新たに一から音楽理論を学ぶ場合の困難さを表しており、そのような学生にも十分に理解できるような授業を極力工夫・改善していく必要がある。

また、実技系の科目、いわゆる個人レッスン形式の授業については、さまざまな部分で平均以下の項目が見られるが、回答者が一人、あるいは数人の場合、統計的に判断することが難しい。また、教師と学生が一对一という授業のために、通常の授業内容以上に、いわゆる「相性」という要素が働いていることも考えられる。このような問題が生じた場合には、音楽学科としては個別に真摯に対応しているが、その結果はこのようなアンケートという形式では表現されにくいことも確かである。

いずれにせよ、今後とも、教員全員でさまざまな面での授業改善に努めて行きたいと考えている。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育開発支援センター